

米国株式型特別勘定 運用状況 (2009年11月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S & P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,677,949	98.4%
現預金・その他	124,972	1.6%
合計	7,802,921	100.0%

運用状況

2009年11月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で5.95%の上昇となりました。月の前半は、好調な企業収益や予想を上回る景気指標を受けて上昇しました。大型M&Aの発表やFRBによる低金利継続観測も相場を後押ししました。しかし後半は利益確定の売りや一部経済指標が景気悪化を示唆したことから、一服となりました。このような市場環境の中、円高の進行により当特別勘定は3.15%下落しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

11月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

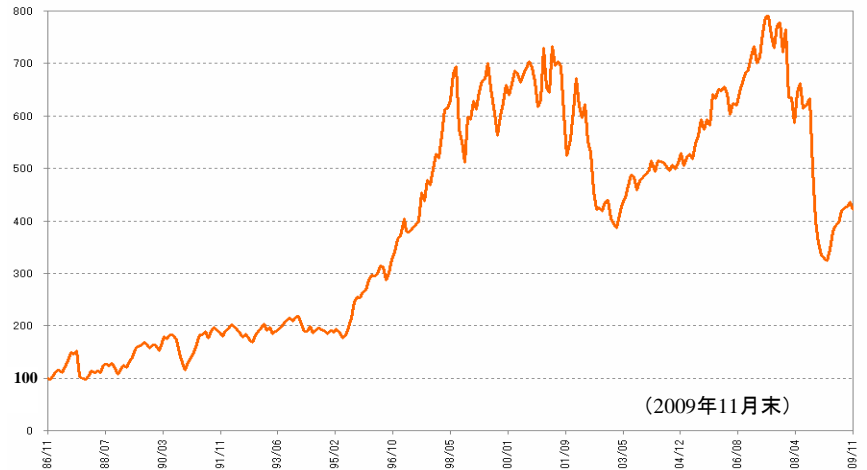
12月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
421.72962052	▲3.15%	▲0.79%	+7.81%	+17.87%	▲38.62%	▲17.34%	+321.73%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。